

学生たちの環境活動ノート⑤

やお環境クラブ
「八尾のまち歩き」報告



大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、昨年度に引き続き、今年度も若者（八尾市在住・在学の高校生・大学生）を起点にした、地域の環境課題解決に向けた取組みを支援しています。

11月23日（土）には高校生3名・大学生3名を迎えて、まちの現状を知るための八尾のまち歩きを実施しました。

近鉄八尾駅周辺から商店街を通り、久宝寺寺内町という歴史的な街並みが残る地域を歩きながら、各所で見られる地域の課題とその解決に向けて取り組まれている活動の説明を受けました。シャッター商店街の現状や長屋の活用などの具体的なまちの取組みについて、八尾市の活性化を目的に活動する学生団体「はちのじ」のメンバーから話を聞くことで、高校生たちも地域の課題をより身近に感じられたようでした。

今後、八尾市への若者視点での政策提言に向けて、実際に自分たちの目で見えた課題を解決するためのアイデアを考える等、資料作成をすすめて参ります。大学生は、資料作成のヒントを与えプレゼンテーションの質を高めるための協力をしてくれているので、最終発表に大いに期待しています。

2025年3月 大阪府民の森 ちはや園地 イベント情報

イベント担当 / (一財)大阪府みどり公社 森林緑地チーム
TEL.06-6266-1038 FAX.06-6266-8665 mail:ryokka@osaka-midori.jp

感動! 星空観望会

ミュージアム星見台で大型天体望遠鏡を使った天体観望

- 【期間】3月22日(土)
- 【時間】19:30 ~ 21:00
- 【集合】ちはや星と自然のミュージアム
- 【料金】800円 【定員】30名
- ※金剛山キャンプ場での宿泊が必要です
- 【申込】ちはや星と自然のミュージアム

山麓スターウォッチング

金剛登山道駐車場で日帰りの星空観望会

- 【期間】3月29日(土)
- 【時間】19:30 ~ 21:00
- 【集合】金剛登山道駐車場
- 【料金】700円
- 【定員】30名
- 【申込】ちはや星と自然のミュージアム

ウキウキ実験工作
～静電気で遊ぼう!～

楽しいを通じて、なぜ?を深く追求します♪

- 【期間】3月20日(木・祝)
- 【時間】AM:11:00 ~ 12:00
PM:13:00 ~ 14:00
- 【料金】500円 【定員】20名
- 【申込】ちはや星と自然のミュージアム

ガイドウォーク

ちはや園地内定例の自然観察会

- 【期間】毎月第1、第3日曜
- 【時間】AM:11:00 ~ 12:00
PM:13:00 ~ 14:00
- 【集合】ちはや星と自然のミュージアム
- 【料金】100円
- 【定員】20名
- 【申込】予約不要

野鳥観察会

ちはや園地は野鳥の楽園!

- 【期間】毎月第4日曜
- 【時間】10:00 ~ 14:00
- 【集合】ちはや星と自然のミュージアム
※昼食、双眼鏡(貸出可)をお持ちください
- 【料金】100円 【定員】15名
- 【申込】予約不要

太陽観察会

安全な方法で黒点やプロミネンスを観察します

- 【期間】晴れの日の土・日・祝日
- 【時間】11:00 ~ 14:30
- 途中望遠鏡調整のため休止時間あり
- 【集合】ちはや星と自然のミュージアム
- 【料金】無料
- 【申込】予約不要



えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

ご家庭や会社で取り組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または上記のアンケートフォームよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしております!



えこっと OSAKA を購読しませんか?



継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、110円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分を送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

- あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA は、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO₂(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収(間伐促進型プロジェクト)で創出されたクレジットでオフセットしています。



マスコット
キャラクター
「えこたま」



みどり公社HPに
アクセス!



「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと:やさしい)、エコロジカルにしようと、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社
TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>
編集協力・印刷/株式会社ウイルハーツ
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F
TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 <http://www.w-hearts.jp/>



フードロスの取組み、始まっています

フードロス削減に向けて、日本では2019年に「食品ロス削減推進法」が施行され、国、地方公共団体、事業者、消費者が一体となってフードロス削減に取り組んでいます。また、農林水産省と環境省は共同で「フードロス削減推進会議」を設置し、具体的な削減目標や施策を策定しています。

大阪府でも、2020年度に「大阪府食品ロス削減推進計画」を策定し、事業者、消費者、行政と連携し、食品ロス削減の取組を進めています。

消費者啓発の促進: フードロスへの理解と削減行動を進めるため、ポータルサイト等での情報発信や、カードゲーム等を活用した学校や地域での出前講座やイベントでの啓発をボランティア「もったいないやん活動隊」等と共に実施しています。

事業者との連携: 「おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度」、セミナーの開催、啓発キャンペーンの実施など、積極的にフードロス削減に取り組む事業者と連携し、府内でのフードロス削減事例の創出及び横展開を図ります。



大阪府のフードロス削減の取組みについて
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120110/ryutai/foodloss/index.html>

もったいないやん、で食べ切ろう

今回は皆さんの身近にある「食」をテーマにフードロスについてお話ししました。食の都と言われる大阪府に住んでいるからこそ、食べることの大切さを改めて考えて、料理のリメイクなどの食べきる工夫、買い過ぎないようにするなどはもちろん、余剰食品をフードバンク*へ寄付することも出来ることの一つです。「もったいないやん」の心で出来ることからやってみましょう!

*フードバンクについては3ページ目に詳しい内容を掲載しています! ▶

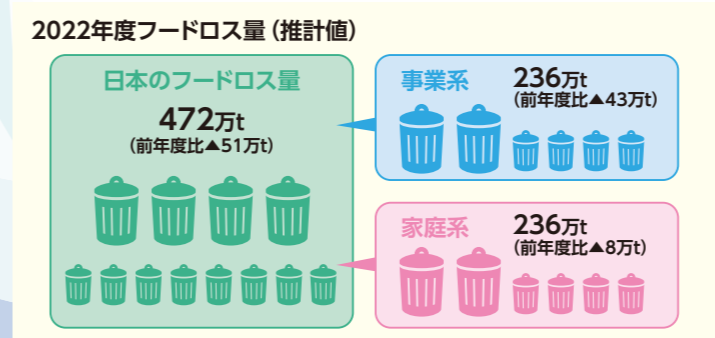
家庭で1年で捨てられている食品 **236万t**

フードロス(食品ロス)とは

フードロス(食品ロス)とは、「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことで、消費段階での買い過ぎ、食べ残し等によって、様々な場所で発生しています。2024年発表の2022年度フードロス量は472万tで、削減目標値である2000年度実績の485万tを初めて下回り、推計開始以来最少の結果となりました。この結果には新型コロナウイルスの影響で外出によるフードロスが減少したこともありますが、値引き販売などによる小売店の食品廃棄の減少、家庭を含め、フードロス削減への意識が高まったこと等が挙げられ、私たちの努力が実った結果といえます。

日本国民1人につき、1日当たりのフードロス量は約103g。大体おにぎり(約110g)1個分に相当します。「たったそれだけ?」と思われる方もいるかもしれませんが、年間で換算すると、お米で約38kgです。そして、日本人ひとりが年間食べるお米の量(購入量)が約50kgで、なんと半分以上を食べずに捨てていることになるのです。

目標を達成したとはいえ、まだまだ多いフードロスに私たちはどう対処していけばよいでしょうか。



農林水産省のデータをもとに作成



「地域」を身近に感じるからできること
 永和信用金庫

「地域」から始める環境活動

大阪市内のほか、堺市・東大阪市・八尾市に支店を構える永和信用金庫。大阪という地域に根付く金融機関だからこそできる、独自の地域貢献、環境活動などを続けておられます。

今回ご協力いただいたのは、永和信用金庫の
 香味 克佳さん。メールでのインタビューに快く
 応えてくださいました。

編) : えこっと OSAKA 編集部
 香) : 永和信用金庫 業務推進部・香味さん

II 地域に根付く金融機関として

編) 環境問題に対する企業としての取り組みを
 お聞かせください

香) 資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実
 践するとともに、環境保全に寄与する金融
 サービスを提供するなど、環境問題に積極
 的に取り組んでいます。2016年から2019
 年にかけて5支店の移転、2021年に梅田
 支店・長田支店を新築移転、本店別館を建
 て替え、2022年に本店第2別館を新築しま
 した。さらに2024年に加美支店を新築移
 転しました。

各建物ともLED照明器具や省エネ機器を
 導入するなど、環境に配慮した設計としてい
 ます。その他の店舗についても、順次LED照
 明に切り替えるなど、省エネに向けた取り組
 みを進めています。

本店では毎週金曜日、役職員が早朝より
 店舗周辺の清掃活動を行い、地域の美化に
 努めています。当金庫では、職員が地域の社
 会貢献活動に積極的に参加できるよう、営業
 時間中に実施される活動において人員を要
 する場合、他店の職員から不足人員を補う
 「ボランティア派遣制度」(2001年より開始)
 を実施していますが、地域美化活動に延べ
 276名の職員(2024年3月末現在)が派遣さ

れ、地域の美化に協力しました。また、毎年
 6月15日の「信用金庫の日」には、大阪府内
 信用金庫統一活動として全店一斉による早
 朝店舗近隣清掃活動を行っています。

これからも当金庫の経営理念に基づき、
 事業活動を通じてSDGs(持続可能な開発目
 標)の達成に貢献し、地域金融機関として、地
 域の社会的課題解決と経済成長の両立の実
 現に努めてまいります。

III 地域と連携してできること

編) 環境活動を通じて、どのような社会貢献
 を目指しておられますか？

香) 地球温暖化による地球環境への関心が高
 まる中で、当金庫のお客さまに温暖化防止の
 重要性をPRするとともに、環境保全活動に
 役立てていただく目的で、2008年より
 「えいわエコ定期積金」を取り扱っており
 ます。「えいわエコ定期積金」のご契約金額
 (総額)に応じて、毎年、当金庫から「大阪府地
 球温暖化防止活動センター」に寄付させて
 いただいております。また、「カーボンオフ
 セット」として環境省等が運用する「J-クレ
 ジット制度」を活用し、チラシの作成工程で
 発生するCO₂排出量を計算してCO₂排出権
 (クレジット)を購入しています。

編) 環境活動を続けていくことで、目に見える成
 果や意識の変化などはありましたか？

香) 2022年に一般財団法人大阪府みどり公社
 さまから、大阪府下の森林整備で発生した
 間伐材の有効活用としてノベルティ作成
 のご提案をいただきました。当金庫が大阪
 府との連携協定のなかで、障がい者の雇用

や就労を支援する「サポートカンパニー」とし
 て、以前より就労継続支援作業所さまにノベ
 ルティ作成や軽作業を依頼していたので、
 「えいわエコ定期積金」のご契約者へ間伐材
 を使ったノベルティをコラボレーションで作
 成しました。このほか、障がい者の雇用促進
 に資する「大阪ハートフル基金」のタイアップ
 商品である「えいわハートフル定期積金」の
 ご契約者へのノベルティにも間伐材を使っ
 たコラボノベルティを作成するなど、大阪府
 下の間伐材の有効活用と障がい者の雇用や
 就労を支援といった一貫した取り組みに関心
 を寄せていただき、大変ご好評いただい
 ております。また、これらの取り組みに対して
 2022年度の信用金庫業界のPRコンクール
 で賞をいただきました。

編) これからの目標や読者へのメッセージを
 お聞かせください。

香) これからも「えいわエコ定期積金」の取扱い
 を通じて、地域のお客さまとともに地球温暖
 化防止活動の輪が広がるように取り組んで
 参ります。

地域に根付く金融機関だからこそ、目の前の
 環境から出来ることを長年続けてこられた永和
 信用金庫の取り組み。地域の清掃活動や職場環境
 のエコ化などの貢献活動から、エコに関する積立
 の開設など、金融機関ならではの独自の活動を
 されています。

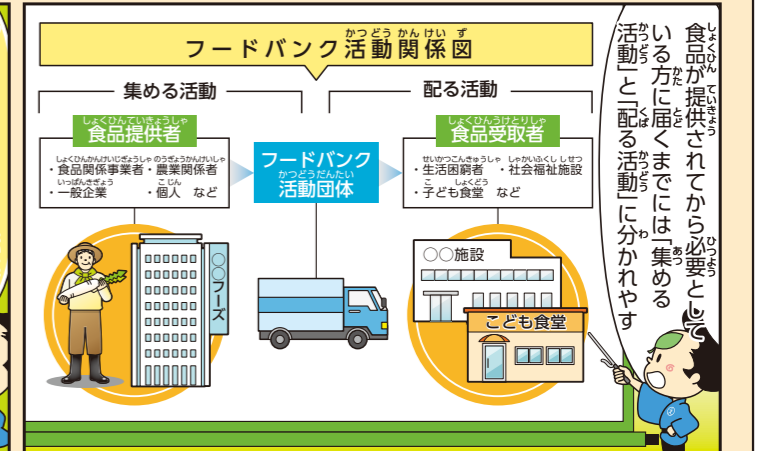
私たちにもできることはたくさんあります。
 少しづつできることから始めていきましょう!

永和信用金庫さまより 今年度も寄附金をいただきました。

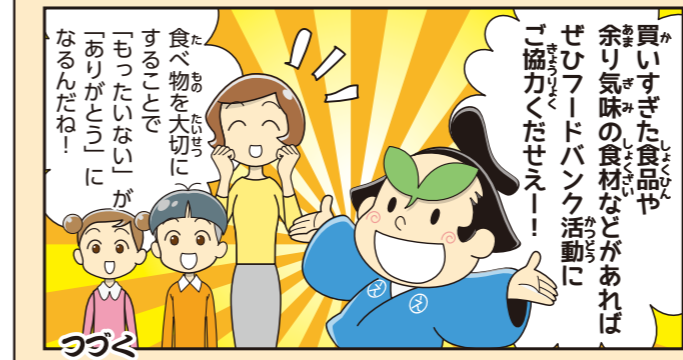
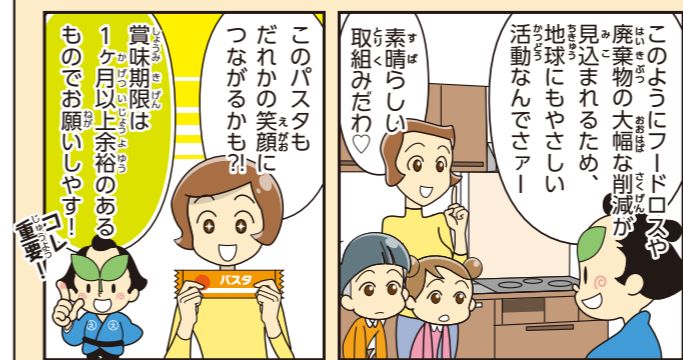
寄附金は、えこっとOSAKAの発行費用や
 センターの活動費用の一部に充当します。



参考：近畿農政局 HP より



参考：フードバンクガイドラインより



受取る側のメリット

- 食費の節約とそれによる資金の有効活用
- 食に対する喜び・体験が増える(食育)
- 満足できる食事で心身の充実感が得られる

企業側のメリット

- 廃棄コスト・環境負荷の軽減
- 従業員の士気高揚・意識向上
- CSRの促進・社会貢献活動の実施

行政のメリット

- 食料廃棄物削減による環境負荷低減の効果
- 財政負担の軽減
- 地域活性化